

東京武蔵野多摩ワイズメンズクラブ

2015年10月号《No.4》

東京YMCA西東京センター内 〒186-0002 東京都国立市東1-20-102

TEL 042-577-6181/FAX 042-577-5574

今月の聖句

「わたしの言葉にとどまるなら、あなたたちはほんとうにわたしの弟子である。あなたたちは真理を知り、審理はあなたたちを自由にする。」

ヨハネによる福音書8章31節_32節

主題

国際会長	Wichian Boonmapajorn	「信念のあるミッション」
アジア地区会長	Edward K. W. Ong	「愛をもって奉仕をしよう」
東日本区理事	渡邊 隆	「原点に立って、未来へステップ」
あずさ部長	標 克明	「ワイズメンとして一歩前進」
武蔵野多摩会長	宮内 友弥	「共に学びあい、活かされる社会を目指して」

ワイズメンズクラブモットー

強い義務感をもとう 義務は全ての権利に伴う

五つの誓い

1. 自分を愛するように隣人を愛そう
1. 青少年のためにYMCAにつくそう
1. 世界的視野を持って国際親善をはかろう
1. 義務を果たしてこそ権利が生ずることをさとう
1. 出席第一と奉仕第一とを旨としよう

ワイズメンズクラブの目的

1. 個人的にもまたクラブとしても、その奉仕活動を通じてYMCAの活動を支援する。
2. ワイズメンにふさわしい他の団体を支援する。
3. 地域社会や国際的な問題に関心を持ち、一党一派に偏らない正義を追求する。
4. 宗教・社会・経済・国際などの諸問題について会員達を啓発し、積極的に参加させる。
5. 健全な交友関係を作り出す。
6. この協会の国際・地域・区の事業を支援する。

9月の例会は台風豪雨のため休会です。嘗て夏休みはありましたが台風休会は初じめてです。

一歩先を行く気概をなくすとすぐポンコツ

ブリテン 松田 啓

バイク通行禁止の道、小学校下校時間、自転車を生垣の角から引っぱり出そうとしていた。

2年生くらいの女の子2人が「大丈夫よね！大丈夫よね！」と囁きながら歩いてきて私の顔をしげしげと見て「タダノオジイサンデスヨネ！」「まいったー！」学校での先生の話、察しが付く。

駅近くの商業施設、一枚ガラスのドアが二重になっている。開けると向こうのドアからお年寄りを囲んで一家がこちらに向かって出てくる、ドアのハンドルを引いたまま待った。

どんと背中を叩かれた、振り返ると見も知らぬ男、「なぜさっさとはいらぬ！」お年寄り一家の方は当然のように出て行った、あの年だと「前を失礼」という挨拶は知っているはず。

関東・東北豪雨の被害の家からどろを必死で掻き出す母子家庭からのレポート。ママ友が助けに来た、それが心苦しくて「すみません」と「ごめんなさい」の連発しか出来ない。ママ友は「ありがとうでいいのよ」。もう一押し「お互い様よ」が欲しいと思った。その状況下で空き巣 21 件車上荒らし 2 件。

埼玉熊谷市の民家三軒で六人が殺害された事件、住民から幾つもの情報提供があったのに、警察からの住民に対する注意喚起は無かった。警察は精査するとあるが紙の段階では人間ではなく事になってしまう。縦社会の究極の姿ではないか！

縦社会の常識が常識の総てになってしまうと内弁慶社会、長いもの社会がまかり通る常識になる。

ワイズに今が一番アクティブでなければならぬときにどうしようもない高齢化の波が押し寄せている。我々は弱った者同士協力しようとワイズ初の試み、武蔵野クラブと合併したが高齢化は止まらない。

大震災、豪雨災害にいち早く駆けつける若い潜在ボランティア人口が目の前にある、しかしなぜお互い様を大事にするワイズに参加には・・・世の中の一歩先を進もうとする気概を忘れるとすぐ潜在老人になる。

試みと失敗。1. 近隣のクラブと合同の活動。2、Y s と関係なくその地域で活動しつつある団体と合同し三者で活動する。その為にはお互いに思いが叶う活動をする。を実現しようと考えたのが 2 年ほど前。

多摩に素晴らしい指揮者にひきいられたラテンからスイングまでこなす若者のウインドウオーケストラが在る。私は彼らがアンドレ・リュウのオーケストラに成長することを夢見ている。我々は彼らに発表の場と機会を提供、年二回二つのクラブが交代で主催する音楽会。地域とメンバーにゆっくりと Y s を浸透し参加に結びつける。それには十分な根回しが必要と一人で 1 年半かけた、さあ実際に動きだそうとした時点で夫々の都合が噴出、あえなく没！

反省、一人の行動には能力体力と時間に限度がある。初めからクラブ全体で考え、クラブ間で練り上げ団体間で創り上げねばならなかった。今残ったのはオーケストラと私個人とのつながりだけ。冷静に考えねばならないが時間だが私自身の中の嵐はまだ収まっていない。これを一歩先に行く力にしなければ。

AYC 参加報告

会長 宮内 友弥

京都での AYC に当クラブ推薦で参加した Mungunbat 君（モンゴル YMCA ユース）より AYC 参加レポートが届きました。原文は英語ですが紙面の制約もあり、抄訳にてご紹介します。

「京都での AYC2015 に参加し素晴らしい経験をさせていただきました。ホストコミッティーの周到的なアレンジで 3 ヶ月前から準備を始め、大会では参加者全員が日本の文化と伝統を認識し体験することができました。参加にあたり交通費、宿泊費等をご支援いただいた東京武蔵野多摩クラブと Tsim Sha Tsui クラブに心から感謝します。AYC2015 は 7 月 29 日から 8 月 2 日まで『あうる京北』で開催され日本、台湾、フィリピン、ナイジェリア、中国、モンゴルから 48 名が参加しました。大会のテーマは“Learning to have Peace-What can I do?”。戦争、環境問題、異文化理解というキーワードの基に、未来に向けてのアクションプランを作成するために講師によるレクチャーを受け議論を行いました。最初は参加者同士お互いに全く知らなかったのですが、たった 5 日間でお互いに打ち解けることが出来ました。第 1 日目は屋外でのバーベキューを楽しみお互いを知り合うことができました。2 日目は、伝統的な村を訪問し茅葺の日本式家屋を見学し、その後近くの川で魚の手掴みを体験しました。3 日目には Steeven Leeper

さんを講師に迎え平和について議論すると共に環境問題を配慮した彼の『自給自足の村』プロジェクトの話に興味深く聞きました。夜には、“Cultural Night”があり私はモンゴルの伝統衣装でモンゴルの伝統的な歌を披露しました。4日目はウェスティン都ホテルに行きアジア大会晩餐会に出席、アジア各国から900名以上のワイズメンが参加していることを知りました。AYC終了後、新幹線で東京へ行き、翌日は1923年に設立された東京YMCA山中湖センターを訪問、その夜には多くの在京ワイズメンとの歓迎夕食会に招いていただきました。

今回のAYC2015は、私の人生において間違いなくハイライトのひとつであり、滞在中日本の皆様の親切なおもてなしに心から感謝します。また直接お世話いただいた宮内、渡辺両氏にもお礼申し上げます。

東京YMCA夏祭りに参加して

会 計 山 口 直 樹

だいぶ前の出来事のように感じるが、8月最終土曜日29日に恒例となっている東京YMCA夏祭りが東陽町センターを会場として開催され、私たちも西東京センターの一員として参加した。西東京センターはこれも恒例の焼きトウモロコシ。今年は値上げし、また本数も増やして参加した。売れ残った時のことも考えて臨んだが、心配をよそにはやと完売。しっかりと売り上げでも貢献してきた。

今年は準備の段階から、担当としてミーティングにも参加したが、そこで耳に残っている言葉。東京Y全体の夏祭りだから、関わる人は主体的に参加してほしい。お客様のようではなく。との言葉。まさにその通り。でも大変。しかし、いつもそこにいることの充実感は大変心地よく、力をもらえる。だんだん顔見知りが増え、知っている人たちとはつながりが強くなった感じである

今の時代に私たちが求めているものの一つのヒントかもしれない。東陽町センターが数年後には返却されるとのこと。YMCAが求めているものは建物ではなく、人のつながりであるとすれば、かえってチャンスかもしれない。などと考えながら明日は富士山例会に行ってきます。

追伸、田中直前理事より焼きとうもろこし材料費 22,460円 売り上げ 46,180円 利益 23,720円のアナウンスがありました。

色々なクラブの方にお目にかかって！

副会長 石丸 由理

2月、世田谷クラブの『石巻歌声広場』に同行させて頂き、7月には、横浜つづきクラブの『山元町での活動』に同行させて頂き、そして今月は、とかち帯広YMCAで、十勝ワイズメンズクラブの皆様にお世話になりました。今回は札幌での仕事で北海道に出かけたのですが、まず東京から稚内に行き、最北端の地、宗谷岬そしてノサップ岬で海に沈む夕日を見て、利尻島を車で一周、白い恋人達のパッケージの利尻富士を見て旭川経由で札幌へ。札幌での仕事の後、帯広に向かいました。『とかち帯広YMCA』では、元気なこども達と一緒に動いたり、スタッフの方との研修、そしてワイズの方から美味しい夕食会を開催して頂き、美味しい十勝の名産を堪能させて頂きました！広大な土地、そこからの恵みを支えている皆さんのお話は、知らない事ばかりで、びっくりの連続でした！5泊6日の旅で、1000Km以上走ったのですが、最終日、帯広周辺を走ったのですが何と1日で100Km！びっくりの連続でした！

10月のハッピーバースデイ 伊佐 節子ワイズ 10・21

10月14日はリーダーの成果発表と懇親会です。司・渡邊 聖書祈祷・伊佐 受・野尻 松田の格メン

<東京 YMCA 便り>

村山 達哉

暑かった夏が過ぎると、急に涼しい日が続いたり、また急に日差しが強い日があったりと、気候の変化の激しい今日この頃ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。季節の変わり目で体調など崩されませんよう、ご自愛ください。

さて、秋には多くのイベントが開催されますが、去る9月23日には、毎年恒例の東京YMCA国際チャリティーランが開催されました。昨年に引き続き晴天に恵まれ、強い日差しの中での開催となりましたが、全チームが無事完走いたしました。例年西東京センターからは、武蔵野多摩クラブ・八王子クラブよりチーム参加費をご支援いただき、チームのエントリーを行っております。今回も知的障がい児・者余暇活動「あおぞら・つばさの会」「シャベルズ・いづみの会」から2チーム参加しました。全65チーム中61番目、65番目という結果でしたが、参加したメンバーと伴走のボランティアリーダーは、それぞれのペースで一生涯懸命に走り、襷をつないでおりました。毎年このチャリティーラン参加費による益金の中から、西東京センターも支援を受けて、障がい児・者を対象としたプログラムを展開しておりますが、これからもより豊かなプログラムとなるよう、リーダーとともに活動してまいります。今後も変わらぬご支援を、よろしくお願いいたします。

また、10月4日(日)には「サマープログラム思い出会&報告会」「西東京フェスティバル」を開催いたします。毎年恒例となっておりますが、年に一回の西東京センターのお祭りです。「高尾の森わくわくビレッジ」に、サマープログラム参加者や、西東京センターに関わるたくさんの方ファミリー、ボランティアリーダーが集まります。とても賑やかな一日となりますので、ぜひご参加ください。

そして、10月6日からウィンタープログラムの申し込み受付が始まります(一般受付は10月8日)。YMCAのスキーキャンプにご期待いただき、ご家族や周りの皆様にもお勧め下さい。今月もお支え、お願いいたします。

<西東京センター及び東京YMCAの主な予定>

- | | |
|----------|---|
| 10/4 | サマープログラム思い出会&報告会・第11回西東京フェスティバル
@高尾の森わくわくビレッジ
中高生グループ活動「TeenS」10月例会 |
| 10/5 | 野尻ユースキャンプ思い出会 |
| 10/6 | ウィンタープログラム申込優先受付開始
ウィンタープログラム リーダーキックオフ |
| 10/8 | ウィンタープログラム申込一般受付開始 |
| 10/10-12 | 三菱商事・東京YMCA 秋の山中湖キャンプ |
| 10/12 | 会員ソフトボール大会 |
| 10/14 | ボランティアリーダー感謝会 |
| 10/17-18 | 幼児野外活動「にこにこ」小学生野外活動「ロビンソン」合同10月例会(一泊会) |
| 10/18 | 軽度発達障がい児 野外活動「Smile」10月例会
国際協力街頭募金(例会後、国立駅にて) |
| 10/24-25 | 知的障がい児・者 余暇活動「シャベルズ・いづみの会」10月例会(一泊会) |
| 10/25 | 知的障がい児・者 余暇活動「あおぞら・つばさの会」10月例会
国際協力街頭募金(例会後、三鷹駅にて) |